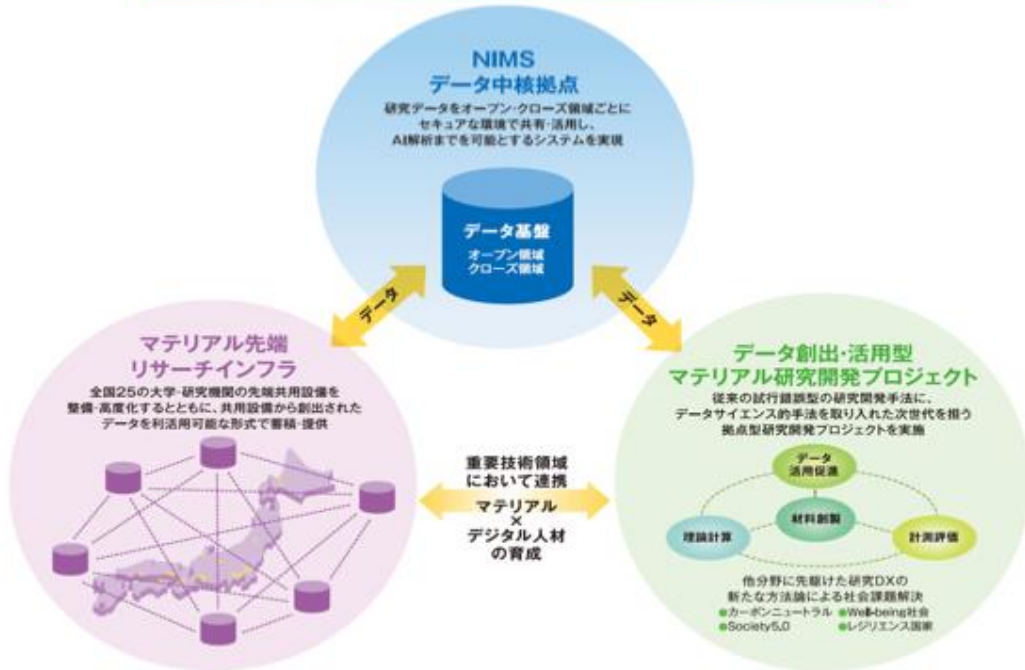


マテリアル先端リサーチインフラ事業 (ARIM)

マテリアルDXプラットフォームの全体イメージ

An overall image of a Materials DX Platform



- ・ 構造化されたデータは物質・材料研究機構 (NIMS) が構築する「データ中核拠点」を通じ
- ・ 「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト」との連携
- ・ 「マテリアルDXプラットフォーム」を構築によるマテリアル革新力の強化に貢献

ハブ・スポークの推進体制(全25法人)

Hub-spoke network (25 universities and institutes)

全国を網羅する装置共用ネットワーク



7つの重要技術

マテリアル・イノベーションが大きなバリューをもたらす社会実装領域と、我が国が真に伸ばすべき重要技術領域をもとに設定



量子・電子制御により革新的な機能を発現するマテリアル

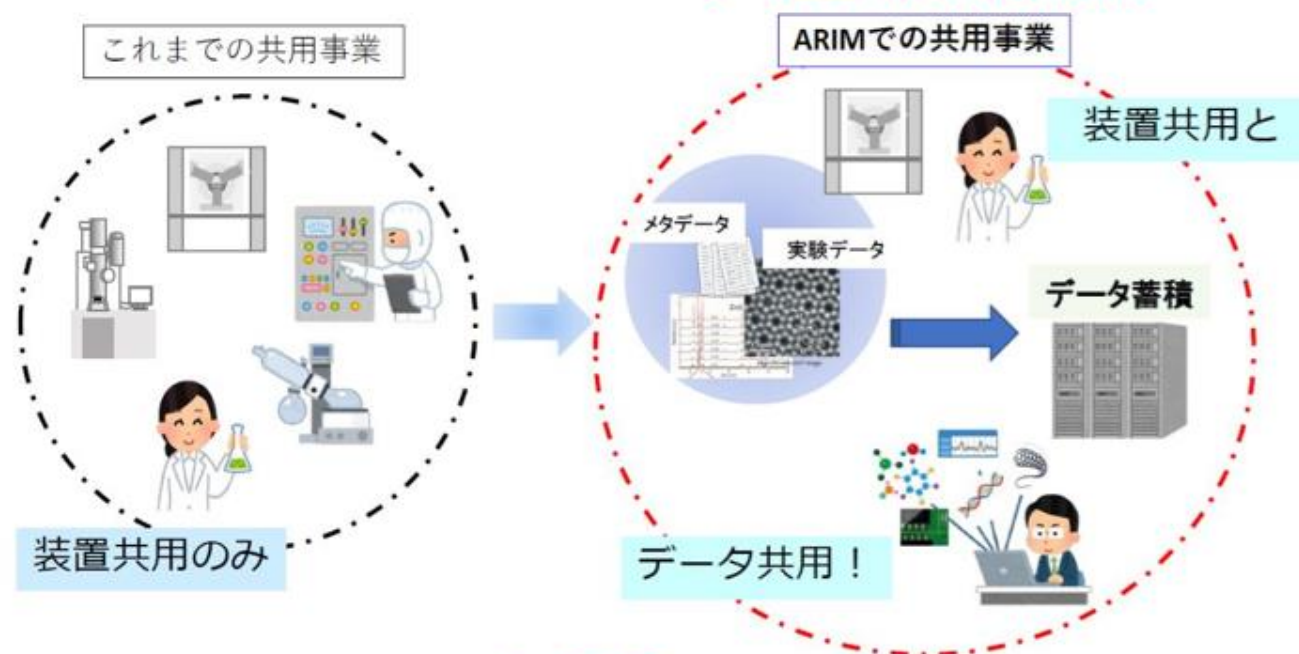
ハブ機関：物質・材料研究機構（NIMS）

スポーク機関：北海道大学、東京工業大学、産総研（AIST）、量研機構（QST）

ARIM事業のサポート内容

量子・電子技術は、Society5.0の実現に向け重要な鍵となる最先端基盤技術の1つであり、今後の経済・社会の飛躍的な発展を遂げるために必要不可欠な革新的技術です。本領域では、ハブ・スポーク機関が有する特徴的な解析装置と高度な微細加工技術の共用および、マテリアルデータの収集・蓄積・構造化を強力に推進し、革新的機能を発現する量子・電子材料のデータ駆動型研究開発に貢献します。

- 全国25機関の**最先端共用設備**と**高度な技術支援**を産学官の利用者へ提供
- 創出される高品質なマテリアルデータを収集・蓄積・構造化
- 蓄積された構造化データを利活用に供し、**データ駆動型マテリアル研究開発**に貢献



25機関 1146台の共用設備 2023.5.1現在